

東佐味の六齋念仏

場所：御所市東佐味

日程：8月13日、14日他

六齋念仏とは、死者供養のために「南無阿弥陀仏」に様々な抑揚を付けて歌うように唱える称名念仏のことである。東佐味の六齋念仏は「高天念仏」といわれ、葛城修験の中心であった高天寺を拠点として、周辺に広まったとされる。シンコロとよぶ曲をもつことが特徴のひとつで、そのほかは高野山麓の六齋念仏と共通しており、全国でも最も古い形を残した六齋念仏である。東佐味の六齋念仏にとって、8月の盆の棚経参りは最大の行事であった。13日と14日は、地区内各家の玄関で門念仏を行い、シヘン以下3曲のヌキヨミ（短縮形）を唱えた。また新仏を祀る家の新棚には、シンバクマイを唱えた。[撮影 野本暉房]

